

在校生の皆さんこんにちは。前生徒会長の和波です。

先日は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも式の挙行にご尽力頂きありがとうございました。

例年通りなら在校生の皆さんにも式にご参加頂き、私たち56期生の門出を見守って頂けたと思います。

しかし、異例の事態に代表生徒のみの参加にならざるを得ない状況となったため、ここで在校生の皆さんに私から少しだけメッセージを伝えさせて下さい。

1年生の皆さんは、高校生活の初めを休校期間から開始することになりましたね。ただでさえ不安な高校生活に新型コロナウイルスの猛威が襲いかかりました。

本来なら5・6月には遠足や東陵祭が予定されており、みなさんが学校を楽しんでいる瞬間がより早く訪れたことと思います。私としても自身の代で東陵祭を過去最高の盛り上がりにすることが一つの目標であったが為に不甲斐なさでいっぱいです。皆さんと東高の一番楽しい時間を過ごせなかったことを悔しく思います。皆さんはこれから二年生として、三年生を支えながら一年生を見守る立場へと変わります。勉強も部活もちろん頑張ると思いますが、それ以上に自分のために自分が幸せになる努力をして行ってください。自分の中の楽しいを追求することが将来の糧になると思います。そして、高校生だから出来ることは何かを考えて色んなことに挑戦してみてください。少しの好奇心と一歩踏み出す勇気が皆さんの世界を変えるかもしれません。

2年生の皆さんは、学校内に友達も増え、先輩であり後輩であるという立場になり、学校生活を一番楽しめる学年を厳しい状況の中で過ごすことになりました。私自身2年生の時に色んな場所に出かけ、たくさんの人に出会い、多くのことを学んだので、皆さんがそういった経験をするチャンスを未曾有の事態により失ってしまった心中を思うと胸が痛みます。それでも受験生としての生活はもう始まっています。ある56期生が「早いスタートと大学に対する知識を持っていた人間が勝つ」と私に話してくれました。早いスタートはもちろんですが、大学によっては多くの入試方式があり、傾斜配点や科目選択の有無など複雑に設定されています。自分から積極的に調べ、志望校に一番受かる確率が高い道を早い段階で選択することが鍵になってくると思います。この状況が簡単に収束するとは思えませんが、57期生の皆さんには私たち56期生の前例があります。成功談も失敗談もほんの少しかもしれませんが、皆さんの力になるかもしれません。先生方や部活の先輩に相談したり、アドバイスを貰って予測不可能な事態での受験を乗り切ってください。そして、最後に笑って卒業して頂けたら嬉しく思います。

長くなってしまいましたが、私からは以上です。不甲斐ない生徒会長でよく分からない先輩だったと思います。それでも私を生徒会長と認め、一年間の56期の生徒会活動を支えて下さったこと心より感謝申し上げます。  
本当にありがとうございました。  
東高の更なる発展と皆様のご活躍に期待しています。